自動車を取り巻く諸情勢

The Socioeconomic Situation Surrounding the Automobile Industry

1　はじめに

2024年は世界的な選挙イヤーといわれ，多くの国で重要な選挙が行われたが，特に注目されたアメリカ大統領選挙はトランプ前大統領が再選を果たし，共和党が上下両院を掌握する「トリプルレッド」の状況となった．自国第一を掲げた保護主義的政策の影響は米国一国に留まらず，日本を含めた世界各国の安全保障や通商に及び，また予測が立ちにくい政策によって不確実性が高まり，ますます変化が激しくなると予想される．ウクライナ，中東における紛争も長期化とともに緊張が深刻化しており，総じて地政学的リスクが高まりより先が見通しにくい情勢となった．

また，2024年は世界で多くの自然災害が発生し，洪水，猛暑，山林火災といった気温上昇や異常気象が原因とされる災害が頻発した．

技術面では進歩が著しいAIを活用した新技術の開発が進み，功罪両面が議論となっているが，半導体などのAI関連銘柄が世界の株式市場を大きく左右するなど存在感を増している．

自動車業界ではBEV販売の成長に市場ごとのばらつきが顕在化する中，BEVやSDV（Software Defined Vehicle）の技術で優位性のある中国メーカの伸長が目立った．

次章から，2024年の状況を項目ごとにまとめるとともに自動車産業界の課題を検討する．

2　政治・経済

[illegible]

[illegible]

[illegible]

表1　主要国の実質GDP成長率（IMF）〔%〕

	2023年	2024年 推計	2025年 見通し
世界	3.3	3.2	3.3
先進国	1.7	1.7	1.9
アメリカ	2.9	2.8	2.7
ユーロ圏	3.3	3.2	1.0
ドイツ	−0.3	−0.2	0.3
フランス	1.1	1.1	0.8
イタリア	0.7	0.6	0.7
スペイン	2.7	3.1	2.3
イギリス	0.3	0.9	1.6
日本	1.5	−0.2	1.1
新興国	4.4	4.2	4.2
中国	5.2	4.8	4.6
メキシコ	3.3	1.8	1.4
ブラジル	3.2	3.7	2.2
タイ	1.9	2.7	2.9
インド	8.2	6.5	6.5
インドネシア	5.0	5.0	5.1
マレーシア	3.6	5.0	4.7

出所：国際通貨基金：世界経済見通し 改訂版　2025年1月

[illegible]